

PEP Net 通信

Vol.3

NPO 法人 郡山ペップ子育てネットワーク
〒963-8803 福島県郡山市横塚一丁目1-3
郡山市元気なあそびの広場『PEP Kids Koriyama』内
TEL: 024-942-6777 / FAX: 024-942-6778



ごあいさつ

9月22日、皇太子ご夫妻が PEP Kids Koriyama に行啓くださいました。ご説明係の大役を任せられ、PEP Kids Koriyama の設立の経緯や存在意義、子どもたちの現状を限られた時間で最大限お伝えしました。被災地の子どもたちの様子を知って頂く良い機会になったと思います。しかし、大変残念だったことは、当日の様子を各報道機関が積極的に報道をしたようですが、その関心の的は両殿下の様子、ご発言内容に終始し、肝心の福島の子どもたちの様子や抱えている問題点にスポットは当たらなかったようです。これが、我が国の急速に進行している東日本大震災の風化であると、痛切に感じました。



6月末から、市内の3歳から15歳までのおよそ4万人弱の子どもたちを対象とし、生活環境（運動実施状況や食生活など）を実施しました。8割を超える回答率を頂き現在解析中ですが、そこから今の子どもたちのより正確な状況がわかると思います。福島の子どもたちの抱えている問題の多くは、実は全国の子どもたちと共通であり、今後の福島での取り組みが、将来の日本の子どもたちを変えるかもしれません。

今回3人の新しいメンバーを加え、私たちは郡山から始まる日本の子どもたちの成育環境の充実に向け、多くの取り組みを通してますます励んで参ります。



ペップバス運行開始！



7月19日 ペップバス寄贈式



株式会社ヨークベニマル代表取締役社長の大高善興様から、当法人にマイクロバスが寄贈されました。子どもたちへの大高社長の温かい思いが込められたペップバスは7月19日に運行が始まり、この日、搭乗第1号となったのは梅ノ木保育園のみなさん。大高社長から菊池理事長には目録が、園児の代表からは大高社長に感謝状が手渡されました。

『すべての子どもたちに、平等に利用してほしい。』と大高社長。ペップバスは保育園や幼稚園など団体の送迎用として利用され、今年度中の予約は、ほぼ満杯となりました。

ペップバスのモデルさんになってくれたのは、増子凜（ましこ・りん）ちゃん。当法人副事務局長・増子里美さんのお嬢さんです。街角でペップバスを見かけたら、セクシーポーズで微笑む凜ちゃんにご注目ください。



皇太子殿下 雅子妃殿下ご来館

テレビや新聞での報道でご存知の方も多いと思いますが、去る9月22日に皇太子ご夫妻がペップキッズこおりやまを訪問されました。館内をご案内したのは、当法人の菊池信太郎理事長。ご説明役の指名はなんと、宮内庁からだったそうです。

皇太子ご夫妻は熱心に質問されたり、近くにいた子どもたちに話かけられたり、エアトラック（空気で膨らませた大型マット）に乗って実際にジャンプされたりするなど、ペップキッズこおりやままでの時間を、心から楽しんでいらっしゃる様子でした



(2013年9月22日 YOMIURI ONLINE)



生活環境調査（アンケート）

郡山市震災後子どものケアプロジェクトでは、昨年度から
①体の状況（運動・体力テスト）②心の状況③生活環境
（遊びの環境、食育の環境調査）を調査した上で、④各
データを網羅的に評価し、⑤各個人に必要と考えられるアド
バイスやサポートを提供し、⑥さしあたり10年間にわたって
子どもたちの育ちを見守っていくことを計画しました。そして本
年度は、7月に第1回目のアンケート調査を、市内の全小
中学校、幼稚園、保育所（認可・認可外）へ依頼し、回
収を行いました。このアンケートは、山梨大学、郡山女子大
学の専門家によって作成され、日本大学工学部で集計が
行われています。また当法人が費用から実施まで請け負って
います。



PEP UP 通信 発行

子どもにとっての健康や運動の重要性、子どもたちの体の現
状について、広く保護者の方々に認識していただくため、
『PEP Up 通信』を発行しました。およそ3万5千部を市内
の教育施設、保育施設に送付し、各ご家庭に配布してい
ただいています。毎月1回、運動や遊び、体の発達、肥満な
どのテーマと共に、PEP Kids Koriyama の紹介、家庭でも
できる運動遊びの例などを盛り込んだ、瓦版を発行してい
きます。様々な不安や悩みを抱えている保護者にとって、少しでも解
決の糸口となり、子どもたちの健やかな育ちを共に考えるき
っかけになればと願っています。



アクティブ団体利用、キッチン一般利用・団体利用の 受付業務を受託

郡山市の委託を受けて、ペップアクティブの団体、ペップキッチンの一般並びに団体の利用受けを、当法人が行うこと
になりました。団体利用と同時にペップパスの予約も承っており、今年度中はほぼ全日が予約でいっぱいです。

受託に伴い、新たに3人の仲間が加わりました。この後は新スタッフと、7月に就任した企画部長をご紹介します。
スタッフが一人となつて前進してまいりますので、ご支援・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



菅家元司（かんげ・もとし）：企画部長

7月よりNPOの企画を担当しております、菅家元志と申します。主にイベントの企画・運営や企業様との連携
をはじめとした、各種新規事業を担当してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



今泉敬（いまいずみ・たかし）：アクティブサブリーダー

10月よりNPOの仲間になさっていた、今泉敬（45歳・独身）です。それ以前はPEPアクティブスタッフと
して子どもたちと日々転がっていました。今後はアクティブフロアでの仕事との、二足わらじ状態が続きます。
常に現場の子どもたちの息吹を、NPOに吹き込むつもりで頑張っています。



佐藤綾子（さとう・りょうこ）：イベントリーダー

10月より新しくNPOの一員となりました、佐藤綾子と申します。これまではアクティブスタッフとして、子どもたち
と触れ合う機会が多かったのですが、今後はイベントなどの事務仕事为主となります。これからも子どもたちの笑顔
のために、精一杯頑張っていきたいと考えております。



穂積茜（ほづみ・あかね）：キッチンサブリーダー

こんにちは。この度みなさまの仲間に加えていただきます、穂積茜と申します。オープン当初よりキッチンを中心と
して働いておりました。いままでとは違うことも多く、戸惑いや葛藤もありますが、ペップキッズが今までよりもさらに
パワーアップできるよう努力していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

【編集後記】早いもので、今年ももう師走となりました。この一年、ペップバス運行の開始や各種研究など、法人としては多岐に
渡り挑戦の年となりました。そのような中、内閣府より「子ども若者育成・子育て支援功労者」において、内閣総理大臣賞の受
賞との嬉しい便りが届きました！この喜びがさらに子ども達の笑顔に繋がるよう、熱い想いを胸に今後も取り組んでまいります。